

週刊 SSH (3月22日)

関東近県SSH指定校合同発表会 (1・2年)



2026年3月22日、工学院大学にて開催された「関東近県 SSH 指定校合同発表会」

に、本校から SSH クラスの 1・2 年生が参加しました。当日は 2 件の口頭発表、56 件のポスター発表を行い、日頃の研究成果を学外に向けて発信しました。

オンラインによる開会式・閉会式

今年度を締めくくる最後の発表会を終え、参加した各コースの生徒から届いた感想を紹介します。

SS 化学	今回の発表会は関東地方の SSH が一堂に集う豪華な研究発表でした。自分には馴染みのない生物分野の、魚の生息地の調査の発表を聞いて、研究の地道な調査方法や、魚の種ごとの効果的な色の使い方を学びました。普段関心の薄い分野のことを知り、自分の研究分野に生かすことのできた良い機会だと感じました。この場を借りて、本日このような研究発表会を主催して下さった関係者の皆様に深く感謝申し上げます。
SS 情報	今回の発表は、初めて戸山高校で行った発表であったこともあり、SYRs や TSS の際よりも多くの方々に発表を聞きに来ていただけたため、自分の研究についてより多くの視点から考えることができました。また、他校の口頭発表やポスター発表も聞き、活発にその発表者たちと議論したり、自分の研究の方法についてより詳しく考えることを通じて、自分の知見を大きく広げられたと感じました。
SS 数学	今回の発表会では、初めて戸山高校以外の場所で発表を行ったこともあり、新たな視点からのアドバイスを頂ける貴重な機会となりました。私たちは、来年度も各々のテーマで研究を進めていくため、他校の方の口頭発表やポスター発表を参考に、より成長していけるような研究をしたいと思います。
SS 生物	今年度最後の発表を通じ、回数を重ねることで「伝わりやすい構成」の重要性を深く実感しました。研究に行き詰まった時期もありましたが、発表の場で頂いた多角的なアドバイスが、新たな視点で次の一步を考える大きな糧となりました。他校の斬新な切り口にも刺激を受けたので、この経験を来年の研究に繋げたいです。
SS 地学	1年間 SSH 地学として活動してきたことで、最初は不慣れだった研究発表の場に慣れることができた。そのため、いろいろな人の発表を積極的に聞き、活発に質問を行えた。また、その中で改めてポスターの見た目やタイトルの大切さに気づいた。どんなに内容が良くても人を惹きつける見た目やタイトルでなくては最初から見てもらえない。自分のポスターの見た目とタイトルも見直したいと思った。
SS 物理	今回の関東近県で他校の生徒へ初めてポスター発表を行いました。緊張することもありましたが、新しく同じ研究テーマの人と関わってたくさんのことを学ぶことができ良かったです。また、円形ホバークラフトの開発や、放電の実験など、同じ学校の生徒が口頭発表で活躍している姿を見て、良い刺激を得ることができました。

